

都市再生整備計画(第4回変更)

ちくまがわ
千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期)

ながのけん うえだし
長野県 上田市

平成29年 12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を図るため、水害や地震等、災害への備えの強化と減災対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一級河川千曲川堤防道路の拡幅に伴う堤防断面の強化による安全度の向上 ・耐震性貯水槽整備による災害時の飲料水の確保 ・台風等の豪雨時の浸水対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道 上田橋中島線(道路;拡幅) ・消防施設整備事業 耐震性貯水槽新設工事(関連事業) ・諏訪部地区内水対策(地域生活基盤施設;地域防災施設)
<p>歩行者・鉄道・自動車等の総合交通ネットワークの充実による安全性・安定性・利便性・回遊性の確保及び向上と低炭素まちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市西側からのアクセスの向上及び既存商店街との回遊性連続性を担保する道路の整備 ・利用者にわかりやすい案内板の整備 ・街路との近接性を活かした別所線城下駅への歩行動線の連続性と安全性の確保 ・公共交通の活性化と低炭素まちづくりの推進に向けた鉄道の基盤整備等の安全強化に対する助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道 上田橋中島線(道路;拡幅) ・市道 榑下泉平線(道路;新設) ・市道 古舟側道6号線 他(道路;改良) ・市道 天神3の2号線 他(地域生活基盤施設;情報板) ・市道 城下停車場線(高質空間形成施設;緑化施設等(カラー舗装)) ・別所線再生支援事業(提案事業;地域創造支援事業)
<p>上田城跡南側周辺の地域特性を活かした誇りと愛着が持てる景観の保全と新たな景観の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田城跡周辺への市花・桜の植樹による景観の向上と修景施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・尼が淵桜の回廊(地域生活基盤施設;緑地)
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	582.0	交付限度額	232.8	国費率	0.40
---------	-------	-------	-------	-----	------

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比 B/C	
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分			
															開始年度
道路		(市道)上田橋中島線	上田市	直	L=380m	平成20年度	平成29年度	平成25年度	平成29年度	898.0	135.0	135.0	135.0	4.4	
道路		(市道)櫓下泉平線	上田市	直	L=132m	平成20年度	平成28年度	平成25年度	平成28年度	752.5	319.5	319.5	319.5	1.8	
道路		(市道)古舟側道6号線 他	上田市	直	L=300m	平成23年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	144.0	20.0	20.0	20.0	1.0	
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		尼が淵桜の回廊	上田市	直	301㎡	平成28年度	平成28年度	平成28年度	平成28年度	6.0	6.0	6.0	6.0	1.0	
地域生活基盤施設		(市道)天神3の2号線 他	上田市	直	4ヶ所	平成26年度	平成28年度	平成26年度	平成28年度	4.0	4.0	4.0	4.0	1.0	
地域生活基盤施設		諏訪部地区内水対策	上田市	直	1式	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	80.0	60.0	60.0	60.0	1.0	
高質空間形成施設		(市道)城下停車場線	上田市	直	L=165m	平成29年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業		拠点開発型													
		沿道等整備型													
		密集住宅市街地整備型													
		耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1,886.0	546.0	546.0	0.0	546.0	1.6

…A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	別所線再生支援事業	上田電鉄別所線	上田電鉄株	間	安全対策一式	平成16年度	平成29年度	平成25年度	平成27年度	643.0	36.0	36.0	36.0
合計										643.0	36.0	36.0	36.0

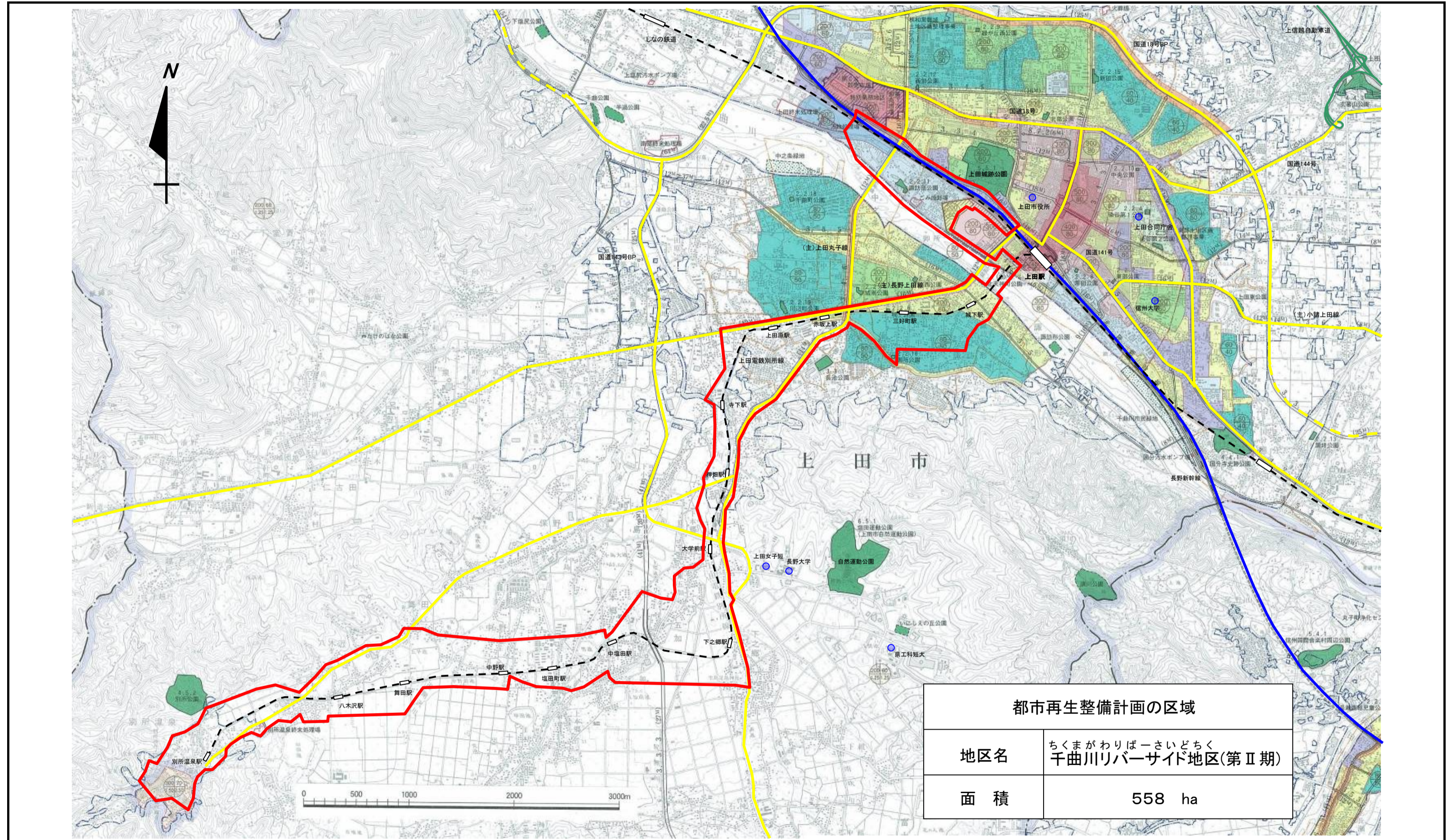
…B

(参考)関連事業		事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
事業	事業箇所名					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
(県)北天神町古吉町線街路事業	(主)長野上田線	長野県	国土交通省	L=625m		○			平成20年度	平成29年度	2,800	
上田城跡整備計画	上田城跡公園	上田市	文化庁	1式		○			平成2年度	平成30年度	1,480	
交流・文化施設整備事業	天神三丁目	上田市	国土交通省	A=23,000㎡		○			平成22年度	平成26年度	12,248	
消防施設整備事業耐震性貯水槽新設工事	別所温泉	上田市	総務省消防庁	N=1基		○			平成26年度	平成26年度	5	
合計											16,533	

合計(A+B) 582.0

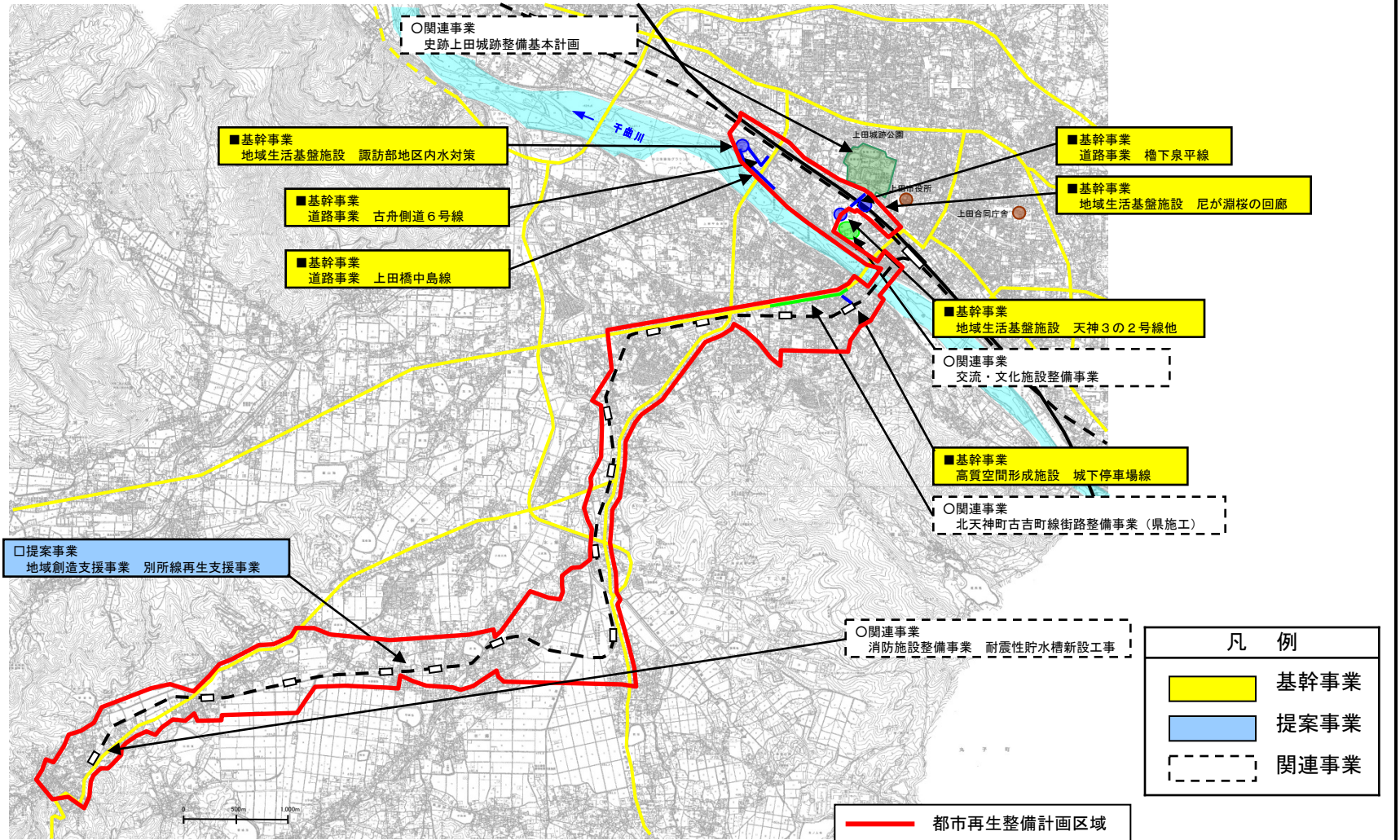
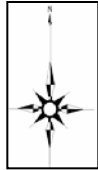
都市再生整備計画の区域

千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期) (長野県上田市)	面積	558 ha	区域	天神二、三、四丁目、常磐城三丁目、常磐城、諏訪形、御所、上田原、神畑、下之郷、五加、本郷、中野、舞田、八木沢、別所温泉
---------------------------	----	--------	----	---



千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期) (長野県上田市) 整備方針概要図

目標	城下町のたたずまいと中心市街地の新拠点が調和・融合した、次世代が住み続けたいと思えるまちづくりを推進する。	代表的な指標	床上・床下浸水の家屋数 (棟/5年)	32	(平成23年度)	→	10	(平成29年度)
			地区内の居住世帯数 (世帯)	11,774	(平成23年度)	→	11,980	(平成29年度)
			地区内の交通事故件数 (件/5年)	458	(平成23年度)	→	405	(平成29年度)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期)都市再生整備計画 事業主体名:上田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○